

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 05	目 01	細目 389	細々目 51
	事業名	0595										
	基本施策	30	伊賀市らしい住まいと居住環境を創造する	所属	190900	建設部建築住宅課 総務管理係	連絡先(記入者) 東瀬 嘉章 43 - 2330					

概要	事業概要	高齢者が安全で安心して居住できる良質な賃貸住宅の供給を促進するため、高齢者の居住の安全確保に関する法律第31条の規定に基づき、三重県知事から供給計画の認定を受けた事業者に対し、契約家賃と入居者の収入によって決める入居者負担額の差額について、予算の範囲内において補助金を交付している。						事業期間 平成 16 年度 ~ 平成 26 年度				
	根拠法令・要綱等	高齢者の居住の安全確保に関する法律、伊賀市高齢者優良賃貸住宅供給事業補助金交付要綱						審議会・委員会等				
	補助金支出	有 ※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	バリアフリー化された高齢者向けの民間賃貸住宅を必要としている高齢・低所得世帯						※口 対象 件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込
成果(どうする)	高齢者が安全で安心した生活ができるようバリアフリー化された優良な住宅供給を促進することにより、高齢者の快適な居住環境、安全で安心した生活を実現する。											
H24 実施 内容	伊賀市上野恵美須町『エルピスハウス』の入居高齢者8名分の家賃補助を行い、高齢者が快適で安心できる居住環境の実現に役立てた。											

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	高齢者住宅入居者の補助件数	件	目標 8.0	実績 8.0	目標 8.0	実績 8.0	8.0	8.0
成果指標	優良住宅利用率 補助件数/優良住宅室数	%	目標 100.0	実績 100.0	目標 100.0	実績 100.0	100.0	100.0	

	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率 45.0%)	1,395	1,395	1,619	1,215					社会資本整備総合交付金
	県費 (補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	1,395	1,395	1,619	1,215	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	高齢者向け優良賃貸住宅家賃補助	3,184	3,562	3,599	2,700					
	その他事務経費									
	小計(B)	3,184	3,562	3,599	2,700	0	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費									
	正規職員	人数	0.5 人	0.5 人	0.5 人	0.5 人	人	人	人	
	人件費	2,841	2,889	2,889	2,889	0	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
	人件費									
	小計(C)	2,841	2,889	2,889	2,889	0	0	0	0	
	合計(D=(B+C))	6,025	6,451	6,488	5,589	0	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	4,630	5,056	4,869	4,374	0	0	0	0	
	※前年度比 対象者あたり一般財源充当額	—	426	△ 187	△ 495	△ 4,374	0	0	0	

必要性	2. 個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
伊賀市では、高齢者向けの市営住宅を提供していないため、市営で住宅を整備しなければならなくなる。	(概ね) 順調		
関与の妥当性		協働の状況など	
実施方法 (該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	○	負担金・補助金・交付金
	委託・指定管理(非公募・随意)		直接実施(契約・交付事務を除く)
昨年度 記載した 改善策	住生活基本計画及び長寿命化計画を策定し、住宅施策の基本方針や既存市営住宅等の活用方針等を検討している。	左記 改善策 への 取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 二つの計画とも策定を終えた。
	現時点における課題 及び 課題に対する改善策	伊賀市公営住宅等長寿命化計画を策定したが、高齢者向けの住宅の提供については、計画の推進とともに長い年月が必要なため、たちまちは、本事業に頼らざるを得ない。しかし、伊賀市高齢者優良賃貸住宅供給事業補助金交付要綱によって、平成26年12月に10年間の期限となるため、その後のことについて検討が必要である。	
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	藤森 尚志	現状維持	老朽化の目立つ市営住宅を高齢者や障がい者など、誰もが安心して安全に居住できる住宅に改修するには、莫大な経費と長時間に亘る改修工事が必要とする。そのため、民間で建設されたアパート等を活用して、本事業と同様に家賃補助を行うことで、住環境の充実が可能となる。(立替よりコストが安価となる場合もある)